

# 新しい生活様式での父親の育児参画

## 1. 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの人々が家族との過ごし方や子育てなどへの意識や行動を変化させている。2020年12月24日に公表された調査結果<sup>1</sup>によると、18歳未満の子を持つ親のうち、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較し、家族と過ごす時間が「大いに増加・増加・やや増加」した人は4割超、家事・育児時間が「大幅に増加・増加・やや増加」した男性は2割超であった。在宅時間が増えることは、家事・育児に関する夫婦の役割分担の変化を促す場合もあるといえる。こうした状況を、父親の育児参画促進の契機と捉え、機運醸成を図る取組にいかした三重県の事例を紹介する。

## 2. コロナ禍での「パパの育児フォトコンテスト」

三重県では少子化対策の一環として、「みえの育児男子プロジェクト」と銘打ち、男性の育児参画の推進に取り組んでいる。このプロジェクトの一つ、「ファザー・オブ・ザ・イヤーin みえ」では、県民に男性の育児参画に関心を持ってもらうことを目的に、2014年から、子育てする男性や仕事と育児の両立を応援する上司等の写真やエピソードを募集している。

第7回となる2020年は、パパの育児フォトコンテストとして、『新しい生活様式』で

の子育ての工夫や子どもとの過ごし方、「ステイホーム中のベストショット」など、コロナ禍で厳しい状況にある時だからこそ、子どもとの触れ合いの様子など前向きになれる写真や動画を募集し、共有することで、男性の育児参画に関する機運醸成を図った。

コンテストには、写真・動画を合わせて1,350件の応募があり、22点の受賞作品は県ウェブサイトで公開<sup>2</sup>されているほか、県内各地の商業施設等でも展示され、多くの人に共有された。受賞作品では、家の中で手作りの夏祭りを楽しむ様子や、父親と子どもが日々の手洗いを楽しみながら行う様子などがみられた。受賞者からは「家族と過ごす時間の大切さについて考える機会が増えた」、「2人で協力して、これからも育児を楽しんでいきたい」といった感想が寄せられた。

## 3. 「男性育児参画の質」向上の取組

三重県では次のステップとして、男性育児参画の質に対する取組も始めている。親になる前のプレパパが男性育児参画のノウハウを学ぶ機会を充実させるためのモデル的な取組の一つとして、「みえのイクボス同盟」加盟企業等と連携し、各企業のプレパパ等を対象とした「パートナーと一緒に取り組む育児」オンラインワークショップを開催した。このワークショップで得られた知見を基に、男性育児参画の視点でのプレパパ教室を展開し、質の向上をめざすこととしている。

1 内閣府「第2回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」2020年12月24日公表  
<https://www5.cao.go.jp/keizai2/manzoku/index.html>

2 第7回「ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ」受賞作品 2020年11月公表  
<https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0323600128.htm>



第7回「ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ」ベストショット賞